

消防署からのお知らせ

秋の火災予防運動

10月15日から10月31日まで、秋の火災予防運動を実施します。

今年度の全国統一防火標語は、「火の確認 いい日を支える いい習慣」です。

これからの季節は空気が乾燥し、暖房器具などの使用も増えることから、火災が発生しやすくなります。令和7年中には、全国で40,783件の火災が発生しており、私たち一人ひとりが日頃から火災を防ぐ意識を持つことが大切です。

火を使用するときはその場を離れない、暖房器具の周囲に燃えやすいものを置かない、たばこの火は確実に消すなど、日頃から「火の確認」を習慣にしましょう。

また、住宅用火災警報器は定期的に点検し、いざという時に正常に作動するか確認しましょう。

火の確認を習慣にし、火災のない安全・安心なまちをつくりましょう。

火災を防ぐためのポイント

-  **火を使うときはその場を離れない**
調理中のこんろや暖房機器からの火災が多く発生しています。離れるときは必ず火を消しましょう。
-  **暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない**
衣類やカーテン、紙類などが触れると、火災の原因になります。周囲の整理整頓を心がけましょう。
-  **たばこの火は確実に消す**
灰皿に水を入れるなど、確実に火が消えたことを確認しましょう。燃えたばこは絶対にやめましょう。
-  **住宅用火災警報器を設置・点検する**
火災の早期発見に大きな効果があります。定期的に作動確認を行い、10年を目安に交換しましょう。
-  **電気の使い方に注意する**
たこ足配線は避け、コードの劣化や破損にも注意しましょう。使用しないプラグは抜く習慣を。

日頃のちょっとした心がけが、火災を防ぐことにつながります。みんなで火災のない、安全・安心なまちをつくりましょう。

令和7年度 全国の火災状況(概数)

※令和7年1月1日～12月31日(消防庁調べ) ※令和6年5月28日発表

令和7年度中の全国の火災は、次のとおりです。

 火災件数	40,783件
(前年比+144件)	
 死者数	1,414人
(前年比+1人)	
 負傷者数	5,949人
(前年比+747人)	

出火原因(上位3位)

1位	たばこ	3,479件
2位	こんろ	3,303件
3位	電気機器	3,240件

※火災原因2位を超過しているため、合計が100%とちがいます。

火災件数は令和に入ってから初めて4万7千件を超え、死者数・負傷者数も増加しています。火災のない安全・安心なまちづくりに、一人ひとりのご協力をお願いします。



第11回キッズフェアを開催します！

消防の仕事を「見て・触れて・体験できる」キッズフェアを、今年も開催します。

開催日は10月10日(雨天順延は10月11日)です。

今回は、子どもたちがより消防職員に近い体験ができるよう、内容や体験方法に改良を重ねています。消防士になった気分で、さまざまな体験にチャレンジしてみませんか？

当日は、実際にホースを使った**放水体験**をはじめ、ロープなどを使用した**救助体験**、火災から命や暮らしを守るための**火災予防体験**、人を助けるための**救急体験**などを予定しています。

家族や友達と一緒に、消防の仕事を楽しく学びながら体験できる一日です。皆様のご来場をお待ちしています！

